

公表：令和7年3月22日

事業所名：子ども発達支援教室「ココ塾」蒲田校

回収率：100% 配布：6 回収：6

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点 →課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	2		<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の状況に合わせて活動スペースを調整できると良いと思う（広すぎると感じることもあるため） ・個別指導ながら広いスペースがある ・放デイの部屋だけ狭いと感じます。仕切りだけではどうも思うときがあります ➡児童発達支援の方はボール遊びなど粗大運動を行うことがある為に、区切られた広い部屋を使っています。限りあるスペースになりますがレイアウトを再検討するなどさらに工夫をしていきます。
	②	職員の配置数は適切であるか	6			<ul style="list-style-type: none"> ・時に複数で対応している。 ・2名配置の方がよい子どももいます。そこが適切にできればいいと思います。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	5	1		<ul style="list-style-type: none"> ・行き届いた配慮がなされている ・現時点で問題ない。
業務 改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	5	1		<ul style="list-style-type: none"> ・朝礼の時などにも情報交換されている
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4	2		
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	3	3		<ul style="list-style-type: none"> ➡自己評価結果は事業所ホームページのほか、WAM NET（障害福祉サービス等情報公開システム）で公開しています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	3		<ul style="list-style-type: none"> ➡今年度初めて第三者評価を実施いたしました。東京福祉ナビゲーションにて報告されています。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	3	3		<ul style="list-style-type: none"> ・平均すると月に2回ぐらい行われている ・研修の機会を与えていただきました
適切 な支 援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	3	3		<ul style="list-style-type: none"> ・形式上は実行されているがよりどころである心理学の理論に問題点が多い ➡支援計画は、おさまや保護者さまからお聞きしたご要望や前期からのご成長を総合的に捉え、支援会議で複数のスタッフが協議しながら作成しています。今後もより多角的な視点から、よりよい計画を立てていければと思っています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	3		<ul style="list-style-type: none"> ・整っている
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	3	3		<ul style="list-style-type: none"> ・行われているが徹底されていない ➡原則複数職員で担当し、話し合いながらプログラムを決めています。今後も情報共有をより円滑に進めながら、より深い話し合いができるよう工夫していきます。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	3	2		<ul style="list-style-type: none"> ・固定化を防ぐ動きがある ・「これをしよう！」と決めて進めている子どもの気持ちやペースを大事にしつつ共感できるよう、自身もいつも心を晴れにしていけるように工夫しています。時に同調し過ぎてしまいがちになるので1つ1つありがたうの気持ちで終わらせ、先に進められるように改善します。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	3	2		<ul style="list-style-type: none"> ・学校で行われる行事やテストに向けて支援内容を個別に設定することができていると思う ・課題は必要に応じて出す
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	0	5	1	<ul style="list-style-type: none"> ・個別活動がメインではあるが、同じ時間帯の利用者間での交流が、双方にとって有益な場合は計画に盛り込めると良いと思う。 ・個別のみになっている ・よく分かりませんがこれはとても大切だと思います ・個別活動を中心に行うため該当しないと思われる ➡個別支援のみ提供しており、今後もその予定です。

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点 →課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	3	2		<ul style="list-style-type: none"> 必ずしも十分な打合せができていないと思えないので、改善が必要。支援後に、次回の支援についての打合せを行えると良いと思う。 ・毎朝の会で行っている。 ・毎回ではないが引継ぎは多数ある。 ・その日や(最近の)その子どもたちの様子を先生方から教えていただけるのがとてもありがたいです。 ➡限られた時間を活用しながらより充実した打ち合わせができるよう、方法や内容を再検討していきたいと思えます。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3	2	1	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価の度に、この項目について充分にできていないと感じる。個々の職員間では情報共有している上、特に気になる点については、翌日全体に報告することができているが、方法はさらに改善したいと思う。 ・個人的には行っている。 ・必ずではない。その時間が取れないことが大きい。 ・その子どもにとって今、必要な内容やペースを伺い、無理なく取り組みができるように工夫していきたい。 ・職員間の情報共有をする時間が少ないと思う。 ➡上記15と同様に今後改善を図ります。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6			<ul style="list-style-type: none"> ・記録は取っているが形式化している面もあるので改善したい ・できるかぎり記録は残している
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4	1		<ul style="list-style-type: none"> ・支援会議を毎週行っている
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	4	1		<ul style="list-style-type: none"> ・教育的観点を加えて支援している。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	2	3		<ul style="list-style-type: none"> ・セルフプランの利用者が多く、会議の機会が少ないが、相当する利用者については、担当する機会が多い職員が積極的に参加できると良いと思う。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	4	2		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者を通じて行事予定等の確認が行われているが、直近の予定である場合も多いことが課題だと感じる。 ・左記の事柄に加えて授業参観（訪問支援）を行っている。 ・行っている話を聞いています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5	1		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか				
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ➡今年度から嘱託の言語聴覚士と作業療法士に定期的に来所してもらい、支援について助言を受けています。今後も緊密に連携しながら、専門的視点を支援に活かしていきたいと考えています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2	1	2	<ul style="list-style-type: none"> 交流は行われていないようだが、施設内での子ども同士の交流はある
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	3	3		<ul style="list-style-type: none"> ➡今年度も児童発達支援地域ネットワーク会議に参加しています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・最も大切なこと、と考え励行、している。 ・受取前や前後に簡単な状況や課題を伝える ・交流できるイベントを行えると良いと思う
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	4	2		<ul style="list-style-type: none"> ➡今年度も希望者を対象にペアレント・トレーニングを開催いたしました。

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点 →課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
保護者への説明責任等	③①	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4	2		
	③②	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	1		<ul style="list-style-type: none"> ・行っているが不十分と思われることもある。 ・行っていると思うのですが把握しておりません ➡定期的なモニタリング面談の他にご希望があれば随時面談を行っています。今後も保護者さまにお悩みがある時にはお気軽に相談していただけるよう、日頃からのこまめなコミュニケーションを大切にしていきたいと考えています。
	③③	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	2	2	<ul style="list-style-type: none"> ・定かではないが、していないと思われる。 ・テーマを設けて保護者とともに勉強会などを行うと良いと思う。 ➡ペアレント・トレーニングなどの勉強会は実施していますが、保護者会についてはまだ実施したことがありません。保護者さまからのご要望が出た際には検討していきたいと思えます。
	③④	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	1		<ul style="list-style-type: none"> ・できる限りのことは行っている
保護者への説明責任等	③⑤	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	3	3		<ul style="list-style-type: none"> ・会報の発行については、熟知していない。 ・会報としては発行していないが必要な情報提供や連絡は丁寧に行っている
	③⑥	個人情報に十分注意しているか	6			<ul style="list-style-type: none"> ・十全な配慮がなされている。 ・他に漏洩しないように心にとどめている
	③⑦	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6			<ul style="list-style-type: none"> ・きめ細かく配慮を行っている。
	③⑧	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	1	4	<ul style="list-style-type: none"> ・そのことに関しては、熟知していない、 ・地域の方やお子さんを招待できるようなイベントを行うと良いと思う ➡保護者さまからのご要望が出た際には検討していきたいと思えます。
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6			<ul style="list-style-type: none"> ・周知徹底している。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6			<ul style="list-style-type: none"> ・十分に行っている。 ・実施している
	④③	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6			<ul style="list-style-type: none"> ・虐待を行う職員はいない。 ➡今後も研修を充分に行うなどし、組織全体として虐待防止に努めます。
	④④	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・支援計画への明記はされてないが必要に応じて適切な手続きを踏んで行う事については職員間で周知されている。 ・安全管理上の問題から、やむなく行うこともある。 ・研修をしていただいたのでありがたかった。 ➡上記④③の虐待防止とあわせて身体拘束についての研修も毎年行っています。やむを得ず身体拘束を行う際には記録を取り保護者さまにも報告をいたします。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	1		<ul style="list-style-type: none"> ・作成しているが、内容が浅く、常識的なレベルに止まっている。 ➡ヒヤリとした場面があった際にはすぐに報告書を作成し、朝礼などで状況共有や改善策の検討をしています。今後も引き続き全職員で十分な共有・検討を行いながら、大きな事故に繋がらないようにしていきます。